

(別紙4(2))

事業所名 グループホームひなげし

作成日: 平成 31年 4月 19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束に当てはまることを職員が共有し、開錠できる工夫を話し合ってみてはいかがか。	すべての出入り口の開錠	職員会議等常に開錠への話し合いを行い1日の中で利用者様の状態に合わせ数分から数時間の開錠を試みる。また、ご家族への説明を行い理解を得る 12ヶ月
2	40 (15)	利用者と職員の食器の形状や食事の量に違いがあり、利用者からどのように見えているのか検討してほしい。食事の献立を掲示してほしい。	統一した食事	職員会議で取り上げ検討していく 1ヶ月
3	45 (17)	入浴日を決めずに毎日声をかけて、希望が出れば支援してほしい。	いつでも入浴ができるようにする	職員の人員を増やし安全を考慮し常に入浴の声かけを行いいつでも入浴ができるようにしていく 6ヶ月
4	54 (20)	廊下から、居室内が見える小窓があるので、利用者のプライバシーを守る工夫をして欲しい。	個人のプライバシーの尊重	職員会議で議題に上げ利用者様の安全確認、夜間の安否確認ができるような取り組みをしていく 6ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。